



いばらき県議会だより

No.225

茨城県議会 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています

「県議会公式X(旧Twitter)」<https://twitter.com/ibarakikengikai> もぜひご覧ください



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

アウトドア・体験



ひたらのくに 常陸国ロングトレイル



つくば霞ヶ浦りんりんロード

食



いばらきフラワーパーク贅沢滞在



常陸秋そば

ほしいもフラッペ

新たな旅のスタイル



着物で水戸さんぽ～水府提灯と着物で街歩き～



トゥクトゥクに乗って水戸の名所を観光



茨城デスティネーションキャンペーン

2023.10.1～12.31

"想像超え"企画



電神ナイトアドベンチャー ©2023 TOHO CO.,LTD. **ゴジラ-1.0** イベントツアー (ゴジラ-1.0)2023年11月3日公開

デスティネーションキャンペーンとは

地域(県・市町村・地元観光事業者など)とJRグループ6社が一体となって行う、**国内最大規模の観光キャンペーン**で、本県での実施は約21年ぶりです。

現在実施中の茨城デスティネーションキャンペーンでは、本紙面に掲載の企画以外にも想像を超える特別企画やイベントが多数用意されています。

ぜひこの機会に茨城の魅力に触れる旅に出掛けてみてはいかがでしょうか。

茨城デスティネーションキャンペーンのイベントなどの情報はこちら▶ <https://www.ibarakiguide.jp/dc/>

※2023年10月16日現在の情報です。※写真は全てイメージです。※期間や定員など限定のあるものは売り切れの場合があります。また、予告なく変更や中止になる場合があります。

第3回定例会の概要

令和5年第3回定例会は、8月31日から9月26日までの27日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、いばらきの快適な社会づくり基本条例の一部を改正する条例、これからの人づくりに向けた対策の充実・強化を求める意見書など、また、知事から、令和5年度茨城県一般会計補正予算などが提出されました。

代表質問は、カーボンニュートラルの実現に向けた取組、内水氾濫における浸水被害軽減への取組、これまでの県政運営と今後の課題などの項目について行われました。(2～3面)

一般質問は、精神障害者2級へのマル福※適用の拡大、店頭でタバコを子どもに見せない取組などの項目について行われました。(4～6面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、茨城ご当地グルメ総選挙のPRの方針、台風第13号における市町村の防災部局と消防との連携などについて議論しました。(7面)

予算特別委員会では、放課後等デイサービス事業の適正な運営、水産業・水産加工業の振興に向けた消費拡大などの質疑を行いました。(8面)

誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会では、これまでの調査・検討結果を踏まえ、中間報告を行いました。(3面)

県有施設・県出資団体等調査特別委員会では、現状、課題、対応方針について、県執行部からの説明聴取、質疑などを行いました。(5面)

決算特別委員会では、令和4年度決算の総括的な概要などについて、県執行部から説明を聴取しました。(6面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書、請願などの34件の議案などが可決、同意、承認、採択されました。

ことば ※【マル福】…小児、妊産婦、重度心身障害者などの医療福祉受給対象者に対し、医療保険で病院などにかかった場合の一部負担金について公費で助成し、医療費の負担を軽減する制度。

代表質問※1(要旨)

●質問者

9月5日(火)

西野 一 議員

(いばらき自民党)

9月6日(水)

八島 功男 議員

(公明党)

二川 英俊 議員

(国民民主党)



こちらから録画映像でご覧になれます。

https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=165

第3回定例会の主な日程

令和5年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 8月31日(木) **本会議**
(開会、知事提出議案説明)
- 9月5日(火) **本会議**
6日(水) (代表質問・質疑)
- 9月7日(木) **本会議**
8日(金) (一般質問・質疑)
11日(月)
12日(火)
- 9月14日(木) **常任委員会**
15日(金)
- 9月19日(火) **本会議**
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 9月20日(水) **誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会**
- 9月21日(木) **予算特別委員会**
- 9月22日(金) **決算特別委員会**
- 9月25日(月) **県有施設・県出資団体等調査特別委員会**
- 9月26日(火) **常任委員会**
本会議
(委員長報告、採決、閉会)

ものづくり産業の活性化



西野 一 議員
いばらき自民党
常陸太田市・大子町選出

議員 県北地域の振興を図るには、ベンチャー企業や大学・研究機関などと優れた技術力を有する県北地域の中小製造業とを結び付けることが大事である。ものづくり産業の活性化にどう取り組むのか。

知事 茨城港および鹿島港では、全国初の港湾脱炭素化推進計画を作成した。特にLNG基地のある日立港区では、水素と二酸化炭素からメタンを製造する技術導入が期待されており、脱炭素化へ大きな役割を果たすと考えている。海運業界では、環境負荷の小さいLNG燃料船などの導入を進めており、燃料を供給する拠点の重要性が増しているため、将来構想として、船舶に燃料の供給を行うLNGバンカリング※2の拠点を掲げた。高い競争力を持つ産業拠点の創出に向け、全力で取り組む。

議員 県北地域の振興を図るには、ベンチャー企業や大学・研究機関などと優れた技術力を有する県北地域の中小製造業とを結び付けることが大事である。ものづくり産業の活性化にどう取り組むのか。

知事 新しい事業を創出する動きを加速させるため、本年10月には日立市と連携した交流会を開催する。今回は、新たにグローバルに活躍する大手企業の研究開発部門や投資家とのマッチングを行うほか、専門家を活用したフォローアップを通じ、県北地域のものづくり企業の技術力を生かしたビジネスの機会を拡大する好循環を創出していく。

認知症対策

議員 人生100年時代の日本にとって、認知症対策は最も大きな課題の一つである。全ての人に正しい知識と理解をしっかりと浸透させる必要がある。認知症対策にどう取り組むのか。

知事 専門医療相談や診断・治療を行う「認知症疾患医療センター」を13カ所指定した。こうした機関に早期につなげるための周知に努める。さらに、認知症カフェの設置促進や認知症サポーターを配置して、利用しやすいサービスや環境を提供する「認知症の人とやさしい事業所」の認定により、安心して外出できる環境整備に努めている。今後は、より外出の機会を増やせるよう、業種の拡大に取り組む。



二七電話詐欺被害の防止を

県立高等学校のあり方

議員 県立高等学校はまさに茨城県の重要な資源であり、今後の茨城県を支える人財育成の要である。魅力ある県立高等学校づくりにどう取り組むのか。

教育長 魅力づくりについては、何より、校長のリーダーシップの下、教職員が一丸となって、取り組んでいくことが重要である。

二七電話詐欺被害防止対策

議員 二七電話詐欺の高額被害が相次いで発生しており、強く懸念している。特に犯行ツールの一つとなっている固定電話を利用した犯行の状況は、また、警察における二七電話詐欺対策をどう行っていくのか。

警察本部長 オレオレ詐欺では、

今定例会で可決された議案など

議員など提出

◆条例の一部改正

- いばらきの快適な社会づくり基本条例の一部を改正する条例
- 茨城県イノシシ等野生鳥獣による被害の防止対策に関する条例等の一部を改正する条例
- 茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例等の一部を改正する条例

◆意見書

- これからの人づくりに向けた対策の充実・強化を求める意見書
- 軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書
- 防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書

知事提出

◆令和5年度補正予算関係

- 一般会計補正予算 ほか3件
- 港湾事業特別会計補正予算 ほか3件
- 条例の一部改正 ほか1件
- 茨城県旅館業法施行条例及び茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例 ほか1件
- 茨城県県営住宅条例の一部を改正する条例 ほか1件
- 教育委員会委員の任命について ほか1件
- 報告 ほか7件
- 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について ほか7件
- 県有財産の取得について ほか7件

請願

- 軽油引取税の課税免除制度の存続を求める請願
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

※意見書および請願の全文は議会ホームページでご覧になれます。
https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/yayori/yayori202310_pdf/ikensyo.htm



ほぼ全てと言える97%の事案で、犯人は、被害者の自宅の固定電話に電話を掛けることが判明している。そのため、地域警察官が高齢者宅を一軒一軒訪問し、1点目に、在宅中でも留守番電話機能を活用して犯人からの電話に出ないこと、2点目に、不安や不審を覚えたり判断に悩

代表質問(要旨)



議員 八島 功男
公明党 土浦市選出

内水氾濫における浸水被害軽減への取組

議員 令和5年梅雨前線による大雨および台風第2号による内水氾濫の被害を受け、雨水をくみ上げるポンプや排水路、排水機場などのハード対策に併せて、ソフト対策が急務であると考えますが、所見は。

知事 ハード対策は多大な時間と費用を要するため、ソフト対策に重点を置き、市町村に対し、内水ハザードマップの作成や適切なタイミングでの避難情報発令の支援などを行い、人的被害ゼロに向け、市町村と連携しながら取り組んでいく。

6月豪雨の農作物・土地改良施設の被害対策

議員 本年6月の豪雨は、本県の農林水産業に推計5億円を超える被害をもたらした。激甚化・頻発化する自然災害への備えは十分でなければならぬと考えるが、今後の対策は。

知事 農林漁業災害対策特別措置条例の速やかな適用や災害復旧事業の活用などの支援をはじめ、農業水利施設の補修・更新を計画的に進めるとともに、収入保険制度の加入促進を強化し、被害対策と被害の軽減に取り組んでいく。

農業基盤整備と用排水コントロール

議員 土地改良などの農業基盤整備の本質は、用水や排水の整

備により、水をコントロールすることであると考える。農業の生産性向上と高収益化の土台をつくる農業基盤整備事業を、今後どのように進めていくのか。

知事 「儲かる営農構想」に基づき、排水性が改善できる水田について、用水や排水施設を整備し、用排水を適切にコントロールすることで、収益性の高い品目への転換や施設園芸団地の形成を目指し、儲かる農業の実現に全力で取り組んでいく。

常磐線特急の羽田空港直接乗り入れへの期待

議員 常磐線は、2031年度開業予定の(仮称)羽田空港アクセス線への乗り入れが期待される。今後の乗降客の増強がダイヤを決する鍵となるため、他県に先駆けて戦略的にアピールしてもらいたい。所見は。

知事 羽田空港と直接結ばれることは本県経済への大きな追い風となる。一本でも多くの列車の乗り入れが実現するよう、関係者と連携しJRに働き掛けを行うとともに、利用促進を図るなど戦略的に取り組んでいく。(ほかに、M字カーブ、L字カーブ及び生涯賃金を踏まえた就業継続への取組、ひとり親家庭の貧困対策なども質問)



土浦駅改札「ようこそ土浦へ」



議員 二川 英俊
国民民主党 ひたちなか市選出

これまでの県政運営と今後の課題

議員 現任期中間地点において、これまでの県政運営についてどのように評価し、今後の課題についてどのように考えているか。

知事 新しい茨城づくりに全力で取り組んできた結果、本県の魅力や潜在力の高さを国内外に示すことができた。一方で、海外に見いだしていくことや、中長期的な視点に立った事業構造の転換が求められる。困難な課題に対しても果敢に挑戦し、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に取り組んでいく。

女性に選ばれる企業の育成

議員 近年増加する女性若年層の県外流出を防ぎ、働くなら本県の企業を選びたいと言われるような県内企業を育成していくことが必要である。女性活躍を進めていくため、女性に選ばれる企業の育成についての所見は。

知事 男女がともに持てる能力を存分に発揮し、社会経済の発展に貢献することは世界の潮流である。先進事例の周知や先進企業表彰などによる経営者の意識改革、経済団体と連携した研修、企業誘致による女性活躍の場の拡大などに取り組んでいく。

農作物の病害虫対策

議員 県総合防除計画の進展は有機農業へつながる技法の開発や理解の促進につながるかと考える。本県の重要産業である農業の課題である病害虫対策についてどのように考えるか。

知事 県総合防除計画で定める天敵昆虫の活用などの手法を、有機農業などの環境に配慮した付加価値の高い農業の推進に活用していく。計画に基づく適切な病害虫防除を推進し、高品質な農作物を安定生産することで、儲かる農業を実現していく。

ひたちなか地区の振興

議員 ひたちなか地区は、インフラ環境の整備も進み、継続的に発展を遂げているとともに、産業集積や観光の面でも取り組みが進められている。今後のひたちなか地区の振興についてどのように考えるか。

知事 産業集積面では、半導体関連企業などの集積を目指し誘致に取り組みしており、常陸那珂工業団地の拡張に着手した。観光面では、観光消費額や地域のブランド力向上に取り組んでいる。関係機関と連携し、企業立地や観光誘客をより一層進める。(ほかに、災害に強い道路基盤の整備、中小企業における賃金上昇への支援なども質問)



令和4年度茨城県女性リーダー登壇先進企業表彰

「誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会」の中間報告を行いました

本委員会(伊沢勝徳委員長)は、今年3月の設置以降これまで5回開催し、県執行部からの説明聴取はもとより、各分野の第一線で活躍する有識者を招いて意見交換を行うほか、国に対し、「これからの人づくりに向けた対策の充実・強化を求める意見書」を決議するなど、鋭意、未来を見据えた人づくりの問題に向き合ってきました。

中間報告では、「結婚・出産の希望がかなう社会づくり」「安心して子どもを育てられる社会づくり」「誰もが教育を受けることができる社会づくり」「多様な働き方・外国人材の積極活用等」の4項目に沿って、重点的に取り組むべき事項を提言として取りまとめました。そして、本委員会における提言の趣旨が、予算や組織体制などに的確に反映されるよう、県執行部に求めました。

今後、最終報告の取りまとめに向け、引き続き精力的に調査・検討を進めてまいります。



中間報告を行う伊沢勝徳委員長

「茨城県議会と茨城キリスト教大学との相互連携・協力に関する包括協定」締結記念事業を実施

県議会と茨城キリスト教大学との相互連携・協力に関する包括協定の締結を記念し、議会および大学で講演会などを開催しました。

8月31日、「茨城キリスト教大学の地域貢献」と題し、上野尚美学長が県議会で、本県の活性化に向けた英語教育に関する提言などの講演を行いました。

また、10月12日には、「未来に誇れる持続可能な茨城づくり」と題し、石井邦一議長が茨城キリスト教大学で講演および学生との意見交換を行いました。

講演では、積極的な議員提案条例の制定といった議会改革の取り組みなどが説明され、その後、講演内容に関して学生と活発な意見交換が行われました。

今後、大学と連携し、議会の政策立案機能の向上や、若者の人材育成などに取り組んでまいります。



学生と意見交換を行う石井邦一議長

ことば ※ 【(仮称)羽田空港アクセス線】…JR東日本が整備を推進している、都心部と羽田空港をダイレクトに結ぶ新たな鉄道ネットワークであり、東山手・西山手・臨海部ルートの3ルートが計画されている。

一般質問(要旨)

質問者

9月7日(木)

磯崎 達也 (いばらき自民党)

ヘイズ ジョン (茨城無所属の会)

木村 喜一 (いばらき自民党)

9月8日(金)

村本 修司 (公明党)

小松崎 敏紀 (いばらき自民党)

金子 敏明 (無所属)

9月11日(月)

高安 博明 (国民民主党)

秋元 勇人 (いばらき自民党)

金子 晃久 (いばらき自民党)

9月12日(火)

松田 千春 (いばらき自民党)

豊田 茂 (いばらき自民党)

川口 政弥 (いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧いただけます。



https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=165



磯崎 達也 議員
いばらき自民党
ひたちなか市選出

精神障害者2級へのマル福適用の拡大

議員 精神障害者の就労があまり進まない中、精神障害者手帳2級保持者にまでマル福を適用すべきではないかと考えるが、所見は。

知事 手帳2級保持者に本県のマル福同様の医療費助成をしている

県は全国で8県のみであるが、精神障害者が苦しい経済状況にあることも承知している。手帳2級保持者へのマル福適用については、県の財政状況、身体・知的障害者との公平性などを勘案しながら、積極的に検討していく。

質問

たちなか地区の工業団地開発で目指す産業集積の姿、教員の労働環境改善なども



ロック・イン・ジャパンとラッキーフェスの開催の様子(国営ひたち海浜公園)

ロック・イン・ジャパン、ラッキーフェスの二大フェスの支援

議員 来年の本県でのロック・イン・ジャパン成功の後押しと、ラッキーフェスを本県の二大フェスへ育てるため、どう取り組むのか。

営業戦略部長 ロック・イン・ジャパン、ラッキーフェスは、誘客効果や経済効果が高く、本県の知名度向上につながることから、関係者間の調整やプロモーションなど、事業を後押ししてきており、引き続き、開催に協力していく。

(ほかに、ひ

質問

脱炭素を進めるため、公用車に電気自動車を導入し、充電ステーションにもなるソーラーカーポートを県駐車場へ設置いただきたいが、どう取り組むのか。

議員 脱炭素を進めるため、公用車に電気自動車を導入し、充電ステーションにもなるソーラーカーポートを県駐車場へ設置いただきたいが、どう取り組むのか。



電気自動車と充電設備(県庁舎)



ヘイズ ジョン 議員
茨城無所属の会
つくば市選出

店頭でタバコを子どもに見せない取組

議員 コンビニなどのレジ裏のタバコの陳列は、子どもの喫煙を招いている。経済的・効果的ながら予防として、諸外国同様、店頭でタバコを子どもに見せないようにすべきと考えるが、見解は。

知事 若年層の喫煙開始を防ぐには、県民の喫煙率を下げ、子どもの周りで喫煙しないことなどが特に重要である。喫煙の健康への影響に関する普及啓発や禁煙支援、受動喫煙防止対策などにより、県民の健康づくりに取り組んでいく。

公用車への電気自動車の導入及び県有施設における再生可能エネルギー設備の導入促進

議員 脱炭素を進めるため、公用車に電気自動車を導入し、充電ステーションにもなるソーラーカーポートを県駐車場へ設置いただきたいが、どう取り組むのか。

県民生活環境部長 技術の進歩やコスト動向、各県有施設の利用状況などを踏まえながら、電動車やソーラーカーポートなどの再生可能エネルギーの導入促進に取り組む。

(ほかに、つくば市内道路へのバスの導入、つくば市内道路へのバス入と県内道路の歩道の修繕、つくば地域の県立高校の不登校への対策も質問)



村本 修司 議員
公明党
日立市選出

核融合産業を活用した県内中小製造業の振興

議員 QSTが県内に立地する地の利を生かし、核融合を県内、特に県北の中小製造業の中核産業として発展させるべきだが、所見は。

知事 QSTは実験機器を整備する予定と聞いており、技術力のある県北の製造業が核融合産業に参入するチャンスと捉えている。県では、「いばらき量子線活用協議会」による核融合産業への参入支援などにより、県内中小製造業の参入を後押ししていく。

公立学校体育館へのエアコン設置促進

議員 国は、避難所の役割も担う体育館の空調設置を支援しており、県は、公立学校体育館へのエアコン設置を推進すべきだが、所見は。

教育長 県では、今年6月までに全ての県立学校の体育館メインアリーナに空調設備を整備した。一方、市町村立小中学校の設置率は全国平均を下回るため、国交付金の補助率が時限的に引き上げられていることを説明するなどして、整備促進を働き掛けていく。

(ほかに、県北振興チャレンジプランの改定方針、精神障がい者のマル福適用範囲の拡大なども質問)



市町村立学校体育館の空調設備(守谷市立愛宕中学校)



木村 喜一 議員
いばらき自民党
小美玉市選出

茨城空港の利用客増加のための取組

議員 茨城空港の利用客増加のため、県には積極的に取り組んでもらいたい。県の取り組みの現状と今後の方針は。

知事 台北便の運航再開を契機としたインバウンド対策や、近県でのプロモーションなどによりアウトバウンドの利用促進を図っている。今後、急回復する航空需要を取り込んでいけるよう、さまざまな利用促進策を講じていく。また、発着枠拡大のため、政府関係各所と調整を進めていく。

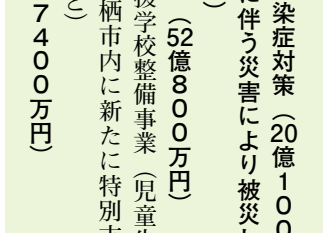
質問

在宅医療体制の充実

議員 在宅医療体制の充実のため、県の取り組みの現状と今後の方針は。

保健医療部長 医師が在宅医療に参入しやすいよう複数の医療機関が相互に支援する体制づくりや、多職種連携体制構築のための会議の開催、訪問看護師の確保・質の向上を図るための研修などを実施している。今後も引き続き、在宅医療体制の充実を図っていく。

(ほかに、高病原性鳥インフルエンスへの対策、空家対策の促進なども質問)



茨城空港における空の日イベントの様子

令和5年度9月補正予算案が可決

原油価格・物価高騰を機に、新たなチャレンジに取り組み事業者への支援や、令和5年台風第13号に伴う災害により被災した方々への支援、県政の課題などへの対応のほか、本年6月の大雨からの災害復旧など社会資本の整備のために必要な予算を計上した9月補正予算案(約133億1700万円)が可決されました。

9月補正予算案に計上された主な事業

- 1 原油価格・物価高騰等対策(6億5000万円)
 - 新しい資源循環モデル形成支援事業(新しいも未利用部分の飼料化などに必要な施設や機械などの導入に対する補助)
- 2 新メロン産地新市場開拓チャレンジ事業(メロンのブランド力強化と輸出拡大のための安定生産に向けた設備などに對する補助)
- 3 新型コロナウイルス感染症対策(20億100万円)
- 4 令和5年台風第13号に伴う災害により被災した方々への支援(20億8400万円)
- 5 県政の課題等への対応(52億800万円)

(仮称)神栖特別支援学校整備事業(児童生徒の長距離通学の解消に向け神栖市内に新たに特別支援学校を建設するための設計など)

社会資本の整備(33億7400万円)

ことば

※1【電動車】…電気を動力に使う車。電気自動車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、燃料電池車を指す。
※2【QST】…国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構の略称。那珂市に研究拠点の一つがある。研究分野は、核融合のほか、放射線医学や量子ビームなど。
※3【核融合】…水素のような軽い原子核同士が融合して、ヘリウムなど、より重い原子核に変わること。化石燃料などに続く新たなエネルギー源として、世界で研究されている。

一般質問(要旨)



小松崎 敏紀 議員
いばらき自民党
鹿嶋市選出

県立カシマサッカースタジアムの方向性

議員 新スタジアム構想で鹿行地域や本県振興の活性化に期待が高まる中、新スタジアム構想を進めるに当たり、どのような課題を想定しているのか。

知事 試合がない日の誘客や地元ニーズの反映などに課題があるが、新スタジアムの建設やまちづくりを通じて、にぎわいの創出や地域課題の解決に資するプラットフォームが構築され、地域全体の活性化につながるよう鹿島アントラーズや鹿行各市と連携して取り組む。



県立カシマサッカースタジアム

再生資源物の屋外保管に関する条例化の進捗状況

議員 再生資源物の屋外保管に関する条例化について、他自治体で条例整備が進んでおり、本県も迅速に条例整備を進める必要があると考えるが、その進捗状況は。

県民生活環境部長 現状・課題の整理などを行い、他法令との整合性や規制内容の妥当性の検証を進め、骨子案を固めたところである。今後はパブリックコメントの意見を踏まえ、最終的な条例案を取りまとめ、早期の制定に努めていく。

(ほかに、がん検診の受診促進、農業の後継者なども質問)



金子 敏明 議員
無所属
かすみがうら市選出

ポストコロナ時代の医療提供体制のあり方

議員 ポストコロナ時代は、中小病院や診療所などが担う「かかりつけ医機能」が重要だが、医療提供体制の在り方について、所見は。

知事 医師少数県である本県においては、さまざまな規模の医療機関が連携し、一体となった体制の構築が有効と考える。地域の核となる病院やかかりつけ医などに求められる役割を適切に担ってもらえるよう、引き続き、医師の確保や医療機関の役割分担・連携の強化を進めていく。



いばらき消防指令センター内にある指令室の様子

消防力の維持・強化と消防の広域化

議員 自然災害の激甚化・頻発化や新興感染症の発生に備え、消防力の維持・強化と消防の広域化が必要と考えるが、所見は。

防災・危機管理部長 県内5ブロックでの広域化を当面の目標としている。全消防本部を訪問し、消防業務の共同化を促すほか、ゼロ隊運用^{※1}の導入を支援している。市町村や消防本部との対話を重ねながら消防力の維持・強化を図る。

(ほかに、「泳げる」霞ヶ浦に向けた取組、恋瀬川の河川改修の進捗と今後の見通しなども質問)



高安 博明 議員
国民民主党
日立市選出

ベンチャー企業の創出・育成に向けた取組と成果

議員 ベンチャー企業による新たな市場や産業の創出が本県の長期的な経済成長につながると考えているが、これまでの県の取り組みを踏まえ、今後どのように地域経済の活性化につなげていくのか。

知事 起業家などが交流するイベントの開催、支援機関と協力した海外展開、ものづくり企業との製品開発など新産業創出の原動力となるベンチャー企業の挑戦を後押しし、県内産業の持続的発展と地域経済の活性化に取り組んでいく。

看護人材の確保と県内定着に向けた取組

議員 ベッドは空いているが患者を受け入れられないなど、看護職員の不足は大きな課題である。潜在看護士^{※2}の掘り起こしなど看護人材の確保にどう取り組むのか。

保健医療部長 県内5カ所の相談窓口設置などによる潜在看護職員^{※2}の再就業促進をはじめとして、養成および定着の促進、質の向上の4つの観点から総合的に取り組み、看護人材を確保していく。

(ほかに、教育現場での人材確保などの取組、地球沸騰化の時代における農業の取組なども質問)



椅子使用者が立ち上がり、移動できるモビリティ機器(Qolo株式会社提供)



秋元 勇人 議員
いばらき自民党
結城市選出

収益性の高い農業の実現に向けての取組

議員 農業従事者が減少する中、収益性の高い農業の推進に向けて、今後どのように取り組むのか。

知事 需要に応じた品目への転換やブランド化による高付加価値化を進めるとともに、価格が高止まりする化学肥料に依存しない有機農業を力強く推進していく。農薬用ドローンなどを使用したスマート農業については、費用対効果に基づき導入支援のほか、農地の集積・集約や大区画化など、導入に向けた事業環境を整備していく。

鬼怒川・田川合流部の水門設置に合わせた田川無堤防地域の築堤

議員 国の水門工事の完成に合わせて、田川の築堤工事を進めてもらいたい。現状と今後の進め方は。

土木部長 水門工事完成後に、速やかに田川の改修が完了されるよう、残る用地取得や工事を進めていく。併せて、水位計と監視カメラにより、河川情報をリアルタイムで住民に提供し、円滑な避難を促すなど、ハード・ソフト両面から水害の防止・軽減を図っていく。

(ほかに、地域の産業に直結する高校教育、伝統工芸産業の振興と技法の継承なども質問)



農業用ドローンによる播種作業の様子

「県有施設・県出資団体等調査特別委員会」を設置、開催しました

人口減少社会における県有施設の今後の方向性や売却などの処分の妥当性、県出資団体などの事業の在り方、経営改善方策などについて、重点的に調査・検討を行う「県有施設・県出資団体等調査特別委員会」を、7月31日の臨時会において設置しました。構成する委員15名は次のとおりです。これまで、8月2日に第1回委員会を開催し、調査方針および活動計画の決定、県執行部からの県有施設・県出資団体などの全体概要についての説明聴取などを行ったほか、8月30日の第2回委員会、9月13日の現地調査、9月25日の第3回委員会においては、重点的に議論することとした個別の県有施設・県出資団体などの現状、課題、対応方針について、県執行部からの説明聴取、質疑などを行いました。



中央に田山東湖委員長、その右隣に星田弘司副委員長、ほか13名の調査特別委員会委員

委員長	田山 東湖	委員	小松崎 敏紀
副委員長	星田 弘司		小泉 周司
委員	葉梨 衛		村本 修司
	飯塚 秋男		二川 英俊
	森田 悦男		中山 一生
	下路 健次郎		江尻 加那
	豊田 茂		長田 麻美
	村田 康成		

議会人事

◆委員会人事

8月1日付で田山東湖議員が、誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会委員を辞任されたことに伴い、同日付で細谷典幸議員が同委員会の委員に選任されました。

◆議員辞職など

8月27日付で沼田和利議員(牛久市選挙区)が辞職されました。これに伴い、同日付で坂本隆司議員が誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会委員に選任され、8月31日付で瀬谷幸伸議員が防災環境産業委員会の副委員長に指名されました。

※1【ゼロ隊運用】…119番通報時に管轄の消防本部に出勤可能な車両がない場合、指令センターが近隣の消防本部の車両に出勤指令を行うもの。
※2【潜在看護士】…看護職員の免許保持者であるものの、現在看護師などとして就業していない人のこと。

一般質問(要旨)



金子 晃久 議員
いばらき自民党
常総市・八千代町選出

取手水害における
災害ボランティア対応の検証

議員 本年6月に発生した取手水害において、災害ボランティア条例に基づく対応は効果的に行われたのか検証する必要がある。今後の対応をどのように検証し、今後の災害に生かしていくのか。
福祉部長 課題を踏まえ、災害ボランティアセンター運営に積極的・主導的に関わる職員の専属化や、被災者ニーズの迅速・的確な把握に向けた人員体制の強化とマニュアル改定および研修の充実、広報活動の強化などに取り組む。



松田 千春 議員
いばらき自民党
潮来市・行方市選出

土浦協同病院なめがた地域医療センターの今後の在り方

議員 診療体制が縮小した土浦協同病院なめがた地域医療センターを、採算性の見込める新たな病院とするため、画像診断に特化した県立病院とし、CTなどの画像を県内や隣県の大学病院などに共有することを提案したが、所見は。知事 ご提案の県立病院化については、地域のニーズや医師の確保、収支の見通しなどの課題について慎重な検討が必要である。引き続き、救急医療をはじめとした地域医療の機能向上に取り組んでいく。

「道の駅」を活かした観光戦略

議員 グルメなどの多様な魅力をもつ「道の駅」については、さまざまな磨き上げを行いながら、観光コンテンツとして戦略的に生かすべきと考えるが、所見は。
営業戦略部長 茨城デザイン・シヨンキャンペーンに合わせて、PRの拠点として「道の駅」を積極的に活用していく。また、「道の駅」を核として、周辺の観光施設を組み合わせた周遊モデルコースの作成などにも新たにに取り組む。

(ほかに、梨の産地振興、水防訓練の在り方なども質問)



水害におけるボランティア受付の様子(取手市)

学校給食費の無償化

議員 国で検討している給食費の無償化が実現されるまでの間、子育て支援の一環として、県で無償化できないか。
教育長 県での無償化は財政上の課題や市町村の取り組みを尊重する点などから慎重な対応が必要である。国で無償化の実現に向け調査を実施しており、こうした動きを注視しながら学校給食に対する支援の在り方について研究していく。

(ほかに、サツマイモ基腐病の対策、霞ヶ浦北浦における漁業の振興なども質問)



学校給食の様子



豊田 茂 議員
いばらき自民党
高萩市・北茨城市選出

ALPS処理水の進捗と
風評被害対策

議員 ALPS処理水の海洋放出が開始されたが、風評被害対策と第一次産業への対応は。
知事 海洋放出開始の前日に海産物で風評と思われる事例が確認されたため、経済産業省・水産庁に風評抑制に向けた取り組み強化を要請し、価格下落が生じた際には、適切に賠償するよう東京電力に申し入れた。今後も、風評と思われる事例が発生した際は、迅速に国へ報告し、差別的な取り扱いを抑制するための対応を求めていく。

二級水流域治水プロジェクト

議員 水害に備えて事前防災対策を加速させる必要がある。県二級水流域治水プロジェクトにおけるダムや森林の取り組みと進捗は。
土木部長 今年度、水沼ダムの堆砂浚渫工事に着手し、治水機能の確保に取り組んでいる。また、森林の多面的機能を発揮させるため、間伐などの適切な森林整備や、治山事業による荒廃した森林の復旧など、森林の保全を推進する。

(ほかに、林業の成長産業化、インバウンド需要の取り込みに向けた「稼げる観光」支援なども質問)



処理水タンク(福島第一原子力発電所)



川口 政弥 議員
いばらき自民党
取手市選出

県と被災市町村との
初動体制の進め方

議員 災害発生時の県と被災市町村との初動体制の進め方、被災市町村との連携をどう強化するのか。
知事 災害が発生する危険性が高まった段階で、「避難情報発令判断支援班」を設置し、市町村に避難情報の発令を働き掛ける。内水氾濫については、学識経験者に意見を伺い、監視カメラなどの設置による現地のモニタリングや住民からの情報提供体制の構築などにより、迅速かつ的確に避難情報を発令できるよう市町村に働き掛ける。

「情報委員会」をオンラインで開催しました

7月10日、情報委員会(飯田智男委員長)において、緊急時のオンライン開催に備え、機器操作などの習熟のため、試行的にオンラインによる審議を行いました。



情報委員会(オンライン)の様子

「決算特別委員会」を開催しました

9月22日に委員会を開催し、一般会計・特別会計・公営企業会計における令和4年度決算の総括的な概要のほか、県総合計画に掲げる政策・施策の進捗状況について、県執行部から説明を聴取しました。
第3回定例会閉会後の閉会中には、常任委員会を基本とする3つの分科会での部門別審査を行った後、総括質疑を行いました。

県内調査(令和5年台風第13号に伴う被害状況)を実施しました

9月15日に防災環境産業委員会および土木企業立地推進委員会において、10月13日に営業戦略農林水産委員会において、令和5年台風第13号の被害調査を行いました。

9月15日には、日立市内の県道日立山方線、日立武道館南側高台臨時駐車場(災害廃棄物仮置場)、高萩市内の二級河川関根川および北茨城市内の高北清掃センター(災害廃棄物仮置場)を視察し、10月13日には、北茨城市内の水田、土地改良施設、水産加工施設を視察し、被害状況などの説明を受けました。



日立武道館南側高台臨時駐車場で被害状況などの説明を受ける委員の様子(9/15)



水産加工施設で被害状況などの説明を受ける委員の様子(10/13)

常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

水稲における温暖化への対策は収益性を分析し、高温に強い品種の導入を推進していく

問 県産米の作況と一等米比率の状況は。また、一等米比率が低下する要因の一つである温暖化への対策は。

答 現時点の作況は平年並みだが、「コシヒカリ」の県平均の一等米比率は約40%と低い。高温に強い品種「にじのきらめき」の導入に向け、収益性を分析し、奨励品種の指定も視野に入れて推進していく。

問 農産物のブランド化については、定量的な規格の設定による品質の均一化が必要だと考えるが、所見は。

答 ブランド化には、品質の均一化は重要だと考えており、例えば梨の恵水では糖度13度



「常陸牛 煌」を発表

以上を特選恵水として販売している。また、本年9月からオレイン酸比率や小ザシ指数^{※3}などに基づき厳選した「常陸牛 煌」の販売を開始した。(ほかに、干し芋残渣^{※4}の飼料化、DC^{※4}における地域との連携なども質問)

総務企画委員会

茨城ご当地グルメ総選挙が県への誘客につながるようなPRの方針は県外、海外に向け幅広くPRしていく

問 茨城ご当地グルメ総選挙^{※1}が県への誘客につながるよう、一歩先をいくPRを行ってほしいと考えるが、所見は。

答 プロモーション動画を制作・配信し、グルメフェスの認知度向上を図っていく。また、総選挙でグランプリを獲得したグルメは、県営業戦略部などと連携し、首都圏をはじめ、県外、海外に向け幅広くPRを行っていく。

問 本県のふるさと納税に係る実質的な収支は赤字であり、制度自体にも課題があると考えるが、県の所見は。

答 制度に対してさまざまな意見があることは承知してい



茨城ご当地グルメ総選挙は令和6年10月開催予定

る。しかし、制度がある以上、県や県内市町村をアピールするツールとして、有効に活用していく方針である。(ほかに、鹿島セントラルホテル事業譲渡の方針、旧岩井西高等学校敷地等の売却手順なども質問)

土木企業立地推進委員会

建設業界のICT機器普及に向けた取り組みは便利さを実感していただく機会を増やしていく

問 建設業界へのアンケート調査結果を踏まえると、ICT機器の普及に向けて、機器の所有率が低い小規模企業への普及が課題となるが、今後どう取り組むのか。

答 小規模企業がICT機器に触れて便利さを実感できる機会を増やし、ICT機器の普及と活用促進につなげたい。

問 市町村の開発計画に対し、県がイニシアチブを取って支援してほしいと考えるが、市町村に対し、どのような支援を行っているのか。

答 地域未来投資促進法に基づいた農地転用に係る特例措置の活用に加え、開発に必要な



ICT建設機械を活用した省人化施工

な各種手続に関して、市町村が産業用地をスピーディーに確保できるよう部局横断的な体制で支援している。(ほかに、県管理河川における水位計およびカメラの設置状況と設置基準、道路などにおける除草対策なども質問)

防災環境産業委員会

台風第13号における市町村の防災部局と消防との連携は事前に注意喚起を行い、しっかりと対応されたものと認識している

問 本年6月の取手市における災害で市町村の防災部局と消防との間の情報共有に課題があったが、今回の台風第13号の災害ではどう対応したか。

答 大雨が予想される都度、防災部局と消防との連携について注意喚起を行っている。今回も事前に注意喚起を行っており、しっかりと対応されたものと認識している。

問 今回の台風第13号と同等の雨水を想定した場合、新産業廃棄物最終処分場の防災調整池や処分場西側の雨水排水の対応は。

答 防災調整池で一時的に貯留したのち放流することから



令和5年台風第13号による大雨被害の様子(日立市)

対応可能である。処分場西側についても、新設道路整備に伴い水路などを整備予定であり、適切な排水が可能である。(ほかに、原子力災害時の避難計画における避難先確保の考え方、インボイス制度の県内への影響なども質問)

文教警察委員会

新設の特別支援学校におけるICTの活用は障害による学習の困難を軽減するためにも活用を推進していく

問 新設される特別支援学校には多様な教育活動や特色ある施設整備などが求められるが、ICTの活用についてどのように考えているのか。

答 それぞれの障害による学習の困難さを軽減させるためのツールとしても、ICTを活用することは非常に重要で効果的であるため、今後活用を推進していく。

問 今回の台風第13号では警察、消防、自衛隊が出動したと聞いているが、自然災害時において各機関はどのように救助活動に取り組んでいるのか。

答 日立市宮田町地内の現場



特別支援学校の音楽の授業で「音あそび」をしている学習風景

では、警察、消防が取り残された住民の安全確保を行った。その後、警察、消防、自衛隊などで捜索方針を決めるなど連携の上、対応を図った。(ほかに、教職員の働き方改革、校長公募の今後の配置予定数と任期更新なども質問)

保健福祉医療委員会

台風第13号の災害ボランティア活動の活発化に向け、広報などに努める

問 台風第13号の災害ボランティアの参加を増やす必要があると思うが、周知の状況は。

答 活動の開始が平日だったこともあり、活動人数は被災者ニーズに対応できていない。遠方からも参加しやすくするため、週末は災害ボランティアバスを運行するなど、活動を活発化できるよう、引き続き広報などに努めていく。

問 来年の医師の働き方改革で、こども病院の医療機能の縮小が懸念されるが、所見は。

答 医師の勤務体制の見直しや医師業務の他職種への移管などにより、働き方改革に対応できる見込みである。県央・



災害ボランティアセンターに集まったボランティアの方々

県北の最後のとりでとして、医療機能を維持する責務があり、現状では何とかこの役割を果たせると考えている。(ほかに、難病指定から医療費還付までの迅速化、ケアリーバー^{※2}への対応なども質問)

ことば ※3【小ザシ指数】…専用測定機で計測した霜降りの細かさを表す数値。

※4【DC】…デスティネーションキャンペーンのこと。

予算特別委員会

●質疑者

9月21日(木)



こちらから録画映像をご覧いただけます。

- 高橋 勝則 (いばらき自民党)
- 二川 英俊 (国民民主党)
- 村本 修司 (公明党)
- 設楽 詠美子 (立憲いばらき)
- 長田 麻美 (日本維新の会)
- 小松崎 敏紀 (いばらき自民党)
- 星田 弘司 (いばらき自民党)

https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=165

高橋勝則委員(自民) 障害のある子どもが利用できる放課後等デイサービスにおいて、組織的な不正請求など極めて悪質と言わざるを得ない事案も発生している。事業の適正な運営に向けて、どのように取り組んでいくのか。

福祉部長 特別監査などで悪質性の高い事案が確認された場合には、行政指導や行政処分を行うだけでなく、事業所から給付費などを返還させている。また、警察への通報や告発などを行い、刑事司法の場でも厳正に対処されるよう求めていく。

(ほかに、農業における化学肥料の削減、入札制度なども質疑)

二川英俊委員(国民) 魚介類の消費減少が続く中、地産地消など、本県水産物・水産加工業の振興に向けた消費拡大に、どのように取り組むのか。

農林水産部長 県内大学・高校と県内スーパードが連携する商品開発など、地産地消の取り組みの後押しや、県産水産物のブランド化により、幅広い消費者をターゲットとして消費拡大を進める。また、水産加工業者と商社のマッチング支援などを実施しており、今後、

ブランド水産物の海外展開も検討する。(ほかに、技能の伝承のための若手技能者の育成、教員不足への対応なども質疑)

村本修司委員(公明) 台風第13号による豪雨では、河川の越水や道路の冠水など、県北地域で大きな被害を受けた。被災した住民の恐怖は計り知れない。住民の安心安全確保のため、河川や道路の復旧整備方針は。

土木部長 県管理河川・道路への当面の対策として、護岸崩壊箇所への土の設置や道路の土砂撤去など、応急復旧を実施している。今後は、被災箇所早期の本復旧・適切な維持管理を図り、住民の安心安全確保に努めていく。(ほかに、特別支援教育の更なる充実、公共交通維持のための地域モビリティの展開なども質疑)

設楽詠美子委員(立憲) 第7次保健医療計画の評価は。また、感染症対策の項目が新たに追加される第8次計画の策定方針は。

知事 第7次計画では、中核的な病院の機能強化に取り組むことなどにより、着実に医療提供体制の強化が図られた。第8次計画においては、新興感染症の発生・まん延時にも通常診療との両立が可能な体制整備を図るとともに、良質な医療を切れ目なく、効率的に提供できる実効性の高い計画策定を進める。(ほかに、過疎地域インターン促進事業等による若者の呼び込み、いじめ・不登校・自殺対策なども質疑)

長田麻美委員(維新) ALPS処理水の海洋放出が開始され、漁業関係者は不安を募らせている。海洋放出に係る県の見解と風評被害への対策は。

知事 安全性の理解が進む一方で、漁

業関係者が放出に反対している事実を重く受け止め、安心して漁業を継続できるように、寄り添ったサポートをしていただきたいと政府に申し入れた。引き続き、風評対策に万全を期すことや風評被害が発生した際は、迅速かつ適切に賠償することなどについて、国と東京電力に責任ある対応を求めていく。(ほかに、牛久沼の越水対策、英語教育の推進なども質疑)

小松崎敏紀委員(自民) 今定例会に「茨城ご当地グルメ総選挙開催準備事業」の予算案が提出されており、新たな「食」に関するコンテンツの創出として期待が高まる場所であるが、この事業の目的や具体的な内容は。

政策企画部長 本県を代表する新たな「食」の観光資源の創出と地域振興を目的に、最強グルメを決定する総選挙に向けて準備しており、本事業では、グルメ開発を行う市町村への支援として、専門家からの助言や新グルメ誕生の経緯などの動画制作や配信を行う。(ほかに、茨城県における熱中症対策、蚊媒介感染症への対策なども質疑)

星田弘司委員(自民) 牛久沼エリアに係る越水対策と水防連絡体制にどう取り組むのか。また、洪水浸水想定区域の指定についての所見は。

土木部長 外部の学識経験者などからなる「牛久沼越水対策検討委員会」の検証結果を踏まえながら、越水防止対策について年内を目途に取りまとめる。また、水防連絡体制の強化を図るとともに、県管理の河川の洪水浸水想定区域の策定についても対応していく。(ほかに、第4次茨城県総合がん対策推進計画の成果と次期計画の策定、シルバーリハビリ体操指導士の今後の在り方なども質疑)

次回の、令和5年第4回定例会は、12月6日から12月21日までの16日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
12. 6	水	議会運営委員会 本会議 (開会、知事提出議案説明)
7	木	休会 (議案調査)
8	金	休会 (議案調査)
9	土	
10	日	
11	月	議会運営委員会 本会議 (一般質問・質疑)
12	火	本会議 (一般質問・質疑)
13	水	本会議 (一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
14	木	休会 (委員会審査準備)
15	金	休会 (常任委員会)
16	土	
17	日	
18	月	休会 (常任委員会)
19	火	休会 (誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会)
20	水	休会 (県有施設・県出資団体等調査特別委員会)
21	木	議会運営委員会 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

※補正予算が提出され、予算特別委員会を開催するなど、会期日程が変更になる場合があります。

12月8日(金)から10日(日)にかけて「G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合」が開催されます

県議会では、G7関係閣僚会合が県の魅力を国内外に発信する絶好の機会であることから、昨年3月に「G7関係閣僚会合誘致推進協議会」(海野透会長)を設置し、誘致の実現を後押ししてまいりました。こうした活動などの結果、「G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合」の水戸市開催が政府より発表され、本年12月8日(金)から10日(日)にかけて水戸市市民会館において開催を予定しております。

※G7関係閣僚会合誘致推進協議会の開催結果などは議会ホームページでご覧いただけます。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/g7/>

子育て世代の傍聴者や議員を対象とした託児サービスを開始しました

子育て世代の傍聴の促進や子育て中の県議会議員の働きやすい環境を整備するため、令和5年第3回定例会から、本会議や委員会を傍聴される方などを対象に、県庁内保育所(ひより保育園)の一時預かりを活用した託児サービスを開始しました。

なお、託児サービスのご利用には、面談などの事前手続きが必要です。

※託児サービスの詳細は議会ホームページをご確認ください。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/takuji/>

県議会と地方職員共済組合茨城県支部(県庁内保育所を運営)との協定締結の様子(中央が石井一議長、右側が大井和彦知事、左側が村上典男副議長)